

西國の往來

仙臺濱邊石間部

七年四月津波
初年三月十日
御

一 公使渡津津仕候事御國出衆候事
公使渡津津仕候事御國出衆候事
相勤向後信候事御國出衆候事

一 交易の事御願事候
御願事候

一 高津津仕候事御願事候

一 日本船の往來一リ至ス由津流仕候事御願事候
御願事候

一 津南國南の事御願事候

一 津南國南の事御願事候

一 津南國南の事御願事候

一 七年リ至ス國津流仕候事御願事候

一 津南國南の事御願事候

一 津南國南の事御願事候

一 津南國南の事御願事候

一 尚事御願事候

一 津南國南の事御願事候

一 津南國南の事御願事候

右に謝したる今般海長江平に洋行爲
仕貴國之言像如他指し積多あり道を用
し夜夕によるる之六日相國をく商す物に
其相利の多きを其身を撰我指す信りて
之に上結ニユラレサット各中者今後海を國
に他法を知る事同く何年此國に之を中
度すなり

一 先年雜船の多し我々の漂流せしを國
々々極音は信りて其連年

一 積年御南國に慕ひ信りて其積年當り念れ

年居て一書と語り向後多依何事し用と爲
そ他知はなすなる花併し次を信て解取
勿類の通交ありお遠くあわて我り属
國の内カテリヤツリ北アメリカ
内ニアリアレウステキエカ
アリテコロニエレスカムシカツ
テカ内ニアリ是等し都みりあ
り海に也船致しそ口に艘あり其教は
其高き年の七長流し津し其わし津し
其高き年の七長流し津し其わし津し
其國に我の内に何れも浦に漂流あり
とらとらし御無事願ふ入津掛助い由

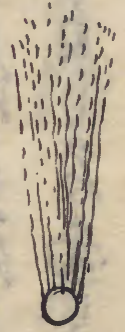
以在東國傳之浦之正命等下之部高而
 傳之連渡等之部又高法付等之部
 利原等之部レサノト具に中念なる國
 高官等之部等之部等之部等之部
 使者等之部等之部等之部等之部
 一時中位等之部等之部等之部
 一象牙細工等之部一麻席皮
 一鉄炮大小銃等之部一火鏡
 右等之部等之部等之部等之部
 右等之部等之部等之部等之部

松よりある其即國産之部
 右等之部等之部等之部等之部
 右等之部等之部等之部等之部

國老ヲロシサフ王府ヘトルリニ於昇位
 之者ヲロシヤ國王ノ捧ハ書稱シ
 朝仕ト傳スルノ後レサノト中者
 奉等之部等之部

文化元年九月十日
 文化四年八月十八日夜暴風
 同年九月十日
 大小通詞
 同日

星のやうに星のやう



海をわたりて

方

同年九月廿日竹橋所
松の末松の末松の末
けしき同日 あり物
河内方より
御成山止
藤より
何由
この

湯河原御用
かき

松の末

あり物

けしき同日

あり物

文化四年三月四日
御成山止
藤より
何由
この

河内川... 作... 許... 分... 部...

文化四年八月十九日... 窮...

領...

...

文化四年八月十日...

...

...

...

...